

第10号様式(第7項関係)

政務活動出張報告書

令和7年11月6日

会派名 市民リベラル  
代表者 伊藤 一之 様

出張者 伊藤 一之

次のとおり、政務活動(要請・陳情活動、調査研究)のため出張したので、その概要を報告します。

1 出張先

10月29日(水) 国土交通省  
10月30日(木) 農林水産省  
10月31日(金) 埼玉県川越市

2 出張日時

令和7年10月29日～令和7年10月31日

3 政務活動事項

10月29日(水) 国土交通省 要請・陳情活動(道路・河川関係)  
10月30日(木) 農林水産省 要請・陳情活動(農林関係)  
10月31日(金) 埼玉県川越市 石畳舗装の維持管理について

4 政務活動結果 別紙のとおり

5 費用 82,790円

# 中央省庁等への要請・要望活動及び視察・研修報告書

2025年11月10日

市民リベラル 伊藤 一之

## 1、政務活動費日

令和7年10月29日（水）～31日（金）

・国土交通省、農林水産省への要請と埼玉県川越市へ視察・研修

## 2、「国土交通省、農林水産省への要請・要望活動」の概要と所感

### (1) 1日目：2025年10月29日（水）

要請・要望項目：①唐津市の国道整備に関する要望

②松浦川改修事業促進に関する要望

### ア、要請・要望先：国土交通省（道路局長・技監）

#### ①要望・要請事項

・唐津市の国道整備促進に関する要望・要請

#### ②要請の経過と所感

13時45分からと14時30分過ぎから国土交通省の所管課で責任対応者（道路局長、技監）に対する要望活動を市議会全会派（唐津市民党は体調不良のため不参加）で行った。（地元選出の古川衆議院議員も同席を頂いた。）

冒頭、議長から今回の対応に対するお礼が述べられ、今回の要請の趣旨として「唐津市の国道整備促進に関する課題」について3点が述べられた。①つには、佐賀・唐津道路の整備促進（唐津～相知間の新規事業化、計画段階の早期着手）について、②つめに西九州自動車道の整備促進（全線の早期開通、暫定2車線区間の4車線化に向け整備手法の検討、道路利用者の安全確保のために関連用地に休憩施設の設置など）について詳細に要望がされた。

私からも要望書にあるように「原発事故の避難道路として、早急な整備が必

要である事」を述べた。イの所管でも述べるが、総じて好意的に対応がされた。予算の配分等に配慮するとのことであったので期待はするが、これまでも整備促進要望がありながらも長い年月が経過しており、これからも全会派が一つに固まり、全市民の要望であることを全面に出しながら、要請をしていく事が重要だと感じた。

## イ、要請・要望先：国土交通省（水管理国土保全局長）

### ①要望・要請事項

- ・松浦川改修事業促進に関する要望・要請
- ・河川改修事業及びかわまちづくり事業の推進について

### ②要請の経過と所感

14時過ぎからから国土交通省の所管課で責任者対応者（水管理国土保全局長）の元に、議長を含め全会派（唐津市民党は体調不良のため不参加）による要請が行われた。（地元選出の古川衆議院議員にも同席を頂いた。）

まず議長から今回の要請の趣旨として、唐津市の「治水関係事業の促進整備についての課題」が述べられた。①つには、徳須恵川中下流部（石志地区、千々賀地区、北波多大杉地区）の河川改修事業の推進、②つには、巖木川中流部（町切地区、鶴地区）の河川改修事業の推進及び本山鉄道橋、本山県道橋早期架替の促進、③つめには、巖木川中島地区の「川まちづくり事業」の推進を唐津市議会、唐津市民全体の要望として要請をした。

対応をした担当者からは、「十分承知している。唐津市全体の要望として、早期の事業推進に全力をあげる。皆さんお声をしっかり受けとめたい。」とのことであった。私たちも諦めることなく、全ての市の課題について議会全体で要請行動を続けていく事が必要だと率直に感じた。

## (2) 2日目：2025年10月30日（木）

### ①要請・要望項目：唐津市の農業政策に関する要望・要請

- ・再生産が可能となるコメ生産者への支援
- ・中山間地における、将来の営農対策
- ・農業分野における原材料価格高騰対策

### ②要請・要望先：農林水産省

### ③要請の経過と所感

9時30分から衆議院第2議員会館「会議室」において要望項目3点の「政府の取り組みと今後の政策」について、勉強会方式で「説明と意見交換」が行われた。

冒頭、榎崎団長から唐津市の現状や要望項目の大まかな説明、今回の要請に対する対応に「お礼」が述べられた。

その後1点目の「再生産が可能となるコメ生産者への支援」について農産局企画課・穀物課、経営局経営政策課・農地政策課・就農女性課が出席し、担当者から「米の需給見通しについて」説明が行われ、生産量は需要を上回っていること、そして需要に応じた生産量をお願いするということであった。その上で、支援についてはしっかりと考えていきたいということであった。私からは、「米の適正価格の考え方」を聞いた。「どこが適正価格とは言えないが需要に応じた生産量で適正な価格を維持したい。」という答弁であった。その他同僚議員から多くの意見が出され、意義の深い議論がされたと考える。

その後、休憩を挟んで2点目の「中山間地における、将来の営農対策」について経営局政策課・就農女性課、農村振興局地域振興課が出席をし、担当者から「直接支払金等の支援策について」資料を示しながら説明がされた。基本的にはこれまでの中山間農業への支援策が詳細に説明をされ、少子高齢化が進む中山間地農業の課題も述べられた。

私からの「中山間地等直接支払い交付金は、2000年の第1期対策から交付単価（上限価格）は全く変わっていない。当時の農林水産省の説明では『交付単価は中山間部と平坦部の生産コスト差を算定して設定』とあるが25年経た今も

変わらないと考えているか？」との問いに、担当課からは「詳細な調査はしていないが、当時からすれば当然、中山間地と平坦部のどちらも物価等も上がり、中山間地と平坦部の生産コスト差が変わったとは考えていない。しかし、令和9年度に制度の見直しを考えている。その時に給付価格をしっかりと見直したい。」という答弁であった。前向きな回答であったと考える。その他多くの意見・質問・要望が同僚議員から出され内容の濃い時間であった。

最後に3点目の「農業分野における原材料価格高騰対策」について、農産局普及課・園芸作物課、畜産局飼料課、経営局保健課が出席し担当課から、主に「収入保険」について詳細な説明がされた。

保険等の充実は十分に理解できたけれども、政府としての直接の支援が必要なことは十分理解をしていただいたと考える。3点について議論がされたが、予定時間を大幅にオーバーするような活発な意見交換ができたと考える。唐津市の農業の課題はしっかり伝えられたと思うし、今回の要請・要望に対する全議員の想いも伝わったと考える。

### 3、「埼玉県川越市への視察・意見交換」の概要と所感

(1) 3日目：2025年10月31日（金）

①視察項目：石畳舗装の維持管理について

②視 察 先：埼玉県川越市

③視察経過と所感

9時00分から川越市議会「会議室」で視察項目である「石畳舗装の維持管理について」意見交換を行なった。議会事務局の進行で始まり、冒頭に田中議会事務局長から歓迎の挨拶を受け、檜崎団長から唐津市の現状を含めて挨拶月された。

その後、建設部・吉田副部長、主査の室岡氏、道路環境整備課・小嶋氏が出席し吉田副部長から「石畳舗装の維持管理について」資料をもとに川越市の現状等が詳細に説明がされた。

川越市「歴史的地区環境整備街路事業地区」の「歴みち事業」の中の16路

線のうち7路線、延長1,320mで「石畳舗装」が実施されているとのことであった。石畳舗装を計画した理由や経緯等についても述べられたが、現在の街並みや観光客などその様子を前日に見学をしたが、予想以上の観光客や人出の多さなどを考えれば、その効果は大きいのかと考える。しかし唐津市に置き換えれば、建物などの街並みなど違いもあり、その効果があるのかは疑問である。

意見交換では、石畳の改修や修繕、その費用や頻度、技術的な課題などが議論された。現地視察では建前抜き議論もあり、「改修や修繕」の課題を考えればコンクリート舗装の方がベストではなくともベターであるとの実務者の率直な意見もあった。

私は、唐津市を訪れる知人や友人、観光客の目線、国庫補助金の唐津市への経済効果等も考え、見栄えする「石畳舗装」の整備に賛成の結論を出した。しかし、今回の視察の中で「街並み整備」と同じ歩調で進めないと効果が薄いのかということも感じた。事業実施までにもっと議論が必要なのかもと考える。

川越市の観光客、人出の多さ、商店主たちの頑張りに感嘆しながら、歴史的街並みに魅せられた。この感嘆を今後の唐津市に、そして観光にどう活かせるか考えていきたい。

以上